

令和元年度 第2回市政総合アンケート

「市民参加（市政、まちづくり活動への参加）について」

京都市では、市民の皆さんと共に市政、まちづくりを推進していくために、「市政参加」の推進の取組と「まちづくり活動」の支援の取組を行っています。

このアンケートでは、皆さんのそれぞれの取組への参加についてお伺いし、新たな「京都市市民参加推進計画」を策定するための基礎資料として活用させていただきます。何卒ご協力をお願いします。

「市政参加」とは、市民の皆さんが市政運営について行政に意見を伝えたり、行政職員と一緒に市政やまちづくりについて考えたり話し合ったりする取組をいいます。

「まちづくり活動」とは、市民の皆さんが、まちや地域社会のために個人や団体に自主的に行う様々な活動をいいます。

「市政参加」について

問1 京都市では、市民の皆さんの意見や想いを市政に反映していくため、次のような「市政参加」の制度を用意しています。この中であなたが参加・利用・回答されたことがあるか、またご存知かについて、取組ごとに当てはまるものを1つずつお選びください。

た こ と が あ る	参 加 ・ 利 用 ・ 回 答 し	っ て い る	度 が あ る こ と は 知	た こ と は な い が 制	参 加 ・ 利 用 ・ 回 答 し	知 ら な い
----------------------------	---	------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---	------------------

	↓	↓	↓
1 市が実施する各種のアンケート調査 ..	-----		
※このアンケートを除きます。			
2 提案, アイデア, 名称・愛称等の募集 ..	-----		
3 パブリック・コメント*1	-----		
4 モニター制度*2	-----		
5 ワークショップ*3	-----		
6 審議会等*4の公募委員への応募	-----		
7 審議会等の傍聴	-----		
8 市長への手紙	-----		

*1 パブリック・コメント…広く市民に対して、市が検討している政策案に対する意見を事前に受け付ける機会を確保し、意見と意見への返答や対応を公開し、必要なときには案の修正をする制度

*2 モニター制度…消費生活モニターや上下水道モニターなど、モニターとなった人からレポートを提出いただいたり、議論していただいたりし、改善に結び付けていく制度

*3 ワークショップ…経験、立場、年齢の異なる人々が参加し、特定のテーマや課題について、知識を共有したり、話し合ったりしながら、共通の課題解決や目標について意見をまとめる話し合いの手法

*4 審議会等…政策の形成や評価のため、専門家、関係者、市民等が市からの諮問事項について審議する会議（例：京都市基本計画審議会）

- 8 参加しても市政に反映される実感がわからないから
- 9 議会があるから市民が直接市政に関わる必要はないから
- 10 特に理由はない
- 11 その他 ()

【問5以降は全ての方にお尋ねします。】

問5 あなたは、市政に対する市民の関わり方は、どのような形がよいと思いますか。次の中から1つをお選びください。

- 1 直接、意見や考えを提案したり、協働*⁶したりする方がよい
- 2 市民の代表として選ばれた議員を通じて意見を反映させる方がよい
- 3 町内会や自治会の役員、様々な地域活動団体等の代表者を通じて意見を反映させる方がよい
- 4 市政は行政に任せておけばよい
- 5 その他 ()

6 よくわからない

* 6 協働…立場の違う人たちも含めて複数の人たちが、問題意識を共有しながら、自らの果たすべき役割を自覚して対等の立場で協力しあうこと

問6 市民の皆さんが市政により一層参加しやすくなるために、**京都市**がすべきことは何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 市政に関する情報をわかりやすく発信する
- 2 市政参加したい市民同士の交流の場を提供する
- 3 市政参加の取組の結果や施策・事業への反映をしっかりと伝える
- 4 政策づくり、計画策定など市政の様々な段階でより多くの参加の機会をつくる
- 5 市民に身近な課題についての市政への参加の機会を充実させる
- 6 社会全体の課題や全市的な課題についての参加機会を充実させる
- 7 子ども、大学生等若い世代の方が参加できる機会を充実させる
- 8 市政への参加の仕組みのユニバーサルデザイン化*⁷を進める
- 9 参加しやすい時間や場所に設定する

* 参加しやすい時間帯を以下から選択してください。

平日（午前中 ・ 午後 ・ 夕方 ・ 夜間 ）

休日（土日曜、祝日）（午前中 ・ 午後 ・ 夕方 ・ 夜間 ）

- 10 インターネット、SNSなどを活用して、意見や提案ができる機会を充実させる
- 11 その他 ()

* 7 市政への参加の仕組みのユニバーサルデザイン化…心身の状況、言語、家事、子育て、介護、仕事や学業など、市民一人ひとりの状況の違いを踏まえ、誰もが参加しやすいものとなる工夫のこと（例：傍聴

可能な会議や説明会，ワークショップ等において子どもも一緒に参加できる工夫，手話通訳や要約筆記の整備，情報発信における文章についてUDフォントの使用や点字資料の作成，「やさしい日本語」の使用や多言語化などの誰もが読みやすい工夫など)

「まちづくり活動」について

問7 あなたがこれまでに参加されたことがある「まちづくり活動」*8について，次の中からあてはまるものを全てお選びください。また，その中から最も重点的に取り組んでいる活動を1つお選びください。活動に参加した地域は，京都市内外を問いません。

*8 まちづくり活動…家の前の「**門掃き**」や子ども・高齢者の見守り活動のような生活に密着した活動，余暇を利用した**ボランティア活動**，京都市や京都市内活動団体への**寄付**や**クラウドファンディング**，**自治会・町内会**などの地域自治活動への参加，NPO（民間非営利組織）や任意の団体，**仲間内などの社会課題に対する活動**，お勤めの企業や団体を通じての**社会貢献活動**など，個人か団体かに関わらず，地域や社会のために市民の皆さんが自主的に取り組まれているすべての活動を指します。

- 1 近所の清掃や，個人として参加するボランティアなど（個人としての活動）
- 2 寄付，クラウドファンディングなど，金銭的な支援（個人としての活動）
- 3 自治会・町内会などの活動
- 4 P T A等学校関係組織の地域活動
- 5 大学のゼミ，サークル，学生団体等の地域活動
- 6 特定非営利活動法人（NPO法人）としての活動
- 7 NPO法人以外の法人格をもった非営利の団体（一般社団法人，公益社団法人，一般財団法人，公益財団法人）としての活動
- 8 主たる業務として地域課題に取り組む企業（ソーシャルビジネス等）としての活動
- 9 営利企業を通じた地域活動（CSR活動，企業ボランティアなど）
- 10 各種経済団体（商工会，会議所，経営者団体，業種別組合・協会など）を通じた活動
- 11 その他各種任意団体等*9を通じた活動
- 12 その他の形態の活動（ ）
- 13 参加したことがない

*9 任意団体等…サークル，クラブ，**サロン等法人格をもたない団体や，有志の集まり**など，地域や社会のための活動を含むもの（本質問においては営利目的でないものを指します。）。

【問7で選択肢1～12と回答された方にお尋ねします。】

問8 市内にはまちづくり活動をする際に利用したり，相談したりできる様々な施設があります。これまでにまちづくり活動のために，利用されたことのある施設について，次の中からあてはまるものを全てお選びください。

- 1 市役所（本庁）

- 2 区役所・支所
- 3 市民活動総合センター（下京区河原町通五条下る東側 「ひと・まち交流館 京都」内）
- 4 いきいき市民活動センター（市内13か所）
- 5 福祉ボランティアセンター（下京区河原町通五条下る東側 「ひと・まち交流館 京都」内）
- 6 景観・まちづくりセンター（下京区河原町通五条下る東側 「ひと・まち交流館 京都」内）
- 7 青少年活動センター（市内7か所）
- 8 キャンパスプラザ京都（下京区西洞院通塩小路下る）
- 9 ウィングス京都（中京区東洞院通六角下る）
- 10 国際交流会館（左京区栗田口鳥居町）
- 11 小学校・中学校
- 12 大学・高校等施設
- 13 地域の集会所，公民館，自治会館等
- 14 その他の公共施設（ ）
- 15 お寺・神社等
- 16 民間のレンタルスペース等
- 17 その他（ ）

【問7で選択肢1～12と回答された方にお尋ねします。】

問9 京都市では，まちづくり活動に取り組む皆さんに，活動のきっかけづくりや，活動される人々が出会い，繋がり，連携・協働するための支援，地域コミュニティの活動支援など様々な取組を行っています。以下に挙げた事業について，参加もしくは利用されたことがあるか，またご存知かについて，事業ごとに当てはまるものを1つずつお選びください。

※ 京都市のすべての事業を網羅しているわけではありません。

	参加・利用したことがある	参加・利用したことは無いが知っている	知らない
活動のきっかけづくり，交流・連携，活動サポート	↓	↓	↓
1 市政出前トーク*10.....			
2 まちづくりカフェ等交流事業*11.....			
3 まちづくり提案支援事業*12.....			
4 “みんなごと”のまちづくり推進事業*13. （お宝バンク，市民サポーター派遣，活動進化プログラム（公開講座，交流会等））.....			
地域コミュニティの活動支援			

5 地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度^{*14}・

6 地域コミュニティサポートセンター^{*15}.....

7 地域団体とNPO法人の連携促進事業^{*16}.....

学生のまちづくり活動への参画

8 輝く学生応援プロジェクト^{*17}.....

9 学まちコラボ事業^{*18}.....

*10 市政出前トーク…市政やまちづくりに関する理解を深め、市民参加の“きっかけ”としていただくことを目的に市職員が市民の集まりに出向き、市政について講義する事業。

*11 まちづくりカフェ等交流事業…「左京朝カフェ」、「中京マチビトC a f e」、「まちづくりカフェ@東山」、「伏見をさかなにざっくばらん」等の名称で、まちづくりに取り組む人の情報交換や、交流・実践を目的とし、各区役所・支所が実施する、区民が気軽に集え、自主的なまちづくり活動のアイデアや仲間と出会う場を提供する事業。

*12 まちづくり提案支援事業…「区民まちづくり支援事業」、「区民活動支援事業」、「区民応援事業」「まちづくりサポート事業」等の名称で、各区役所・支所が区民のまちづくり活動の資金助成、情報発信支援等を実施する事業。

*13 “みんなごと”のまちづくり推進事業…京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と京都市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行う事業。

*14 地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度…自治会・町内会や学区自治連合会が、自治会・町内会への加入率向上、運営活性化等に取り組む場合や、マンション等で新たに自治会の設立に取り組む場合に、その経費の一部を助成する制度

*15 地域コミュニティサポートセンター…自治会・町内会の運営に関すること、楽しく地域活動を行うなど地域コミュニティ活性化のための様々な問合せに対応するための総合的な相談窓口。

*16 地域団体とNPO法人の連携促進事業…地域団体とNPO法人が地域の課題解決に向けて、寄附という形で地域から支援を受けて取り組む事業について、公益財団法人京都地域創造基金と協働して実施しているプロ

- 8 市職員とまちづくり活動を行う方（個人・団体）との連携・協働を推進する
- 9 まちづくり活動を行う方（個人・団体）同士の連携・協働を推進する
- 10 その他（ ）

「市政参加」, 「まちづくり活動」全般について

問 12 京都市では、市政参加やまちづくり活動の情報を色々な媒体で発信しています。あなたがこれまで、市政参加やまちづくり活動の情報を得たり、見聞きしたりした媒体で、頻度の多いものを3つまでお選びください。

- 1 市民しんぶん
- 2 京都市の公式ホームページ（「京都市情報館」, 「みんなでつくる京都」など）, 公式SNS（Twitter, Facebook, LINE）
- 3 市政広報板
- 4 区役所等の窓口, 公共施設の配架チラシ等
- 5 市バス・地下鉄のポスター等の掲示物
- 6 ラジオ・テレビでの市広報番組
- 7 自治会・町内会の会合やニュース（回覧板含む）
- 8 新聞
- 9 ラジオ・テレビ（市広報番組以外）
- 10 インターネット（京都市以外が運営するホームページ, SNSなど）
- 11 知り合いからの口コミ情報, 知人が発信するSNS
- 12 その他（ ）
- 13 見聞きしたものはない

問 13 京都市では、市民の皆さんと共に、知恵と能力を結集して解決を考えていく「協働のまちづくり」の実現のため、多様な市民（個人, 企業, NPO, 各種団体, 大学, 寺社等）と行政が対等な立場で一緒に話し合い、考える「対話」の取組を推進しています。「対話」の取組について、京都市がこれから力を入れて進めるべきと思うことについて、次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。

- 1 市民が「協働のまちづくり」や「対話」について学ぶことができる機会を増やす（講座, ワークショップなど）
- 2 市政やまちづくりについて、多様な市民が交流し、話し合える機会を増やす（まちづくりカフェ, 交流会など）
- 3 市政やまちづくりについて、多様な市民が交流し、話し合える機会に市職員が積極的に参加する
- 4 市政やまちづくりについて、多様な市民の連携を促進する「対話」の能力を持った職員を育成する
- 5 対話の取組を積極的にPRし、開催場所等を分かりやすく発信する

6 特に推進しなくてもよい

7 よく分からない

自由意見

問 14 「市政への参加」や「まちづくり活動」について、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問 15 最後にあなた自身のことについてお尋ねします。次の（ア）～（エ）の各項目について、それぞれいずれか 1つをお選びください。

（ア）性 別 1 男 2 女 3 ()

（イ）年 齢 1 18～29 歳 2 30 歳代 3 40 歳代 4 50 歳代 5 60 歳代 6 70 歳以上

（ウ）居住地 1 北 区 2 上京区 3 左京区 4 中京区 5 東山区 6 山科区

7 下京区 8 南 区 9 右京区 10 西京区 11 伏見区

（エ）職 業 1 自営業・自由業 2 給与所得者

3 主婦・主夫 4 学生

5 無職 6 その他